



# 金沢医科大学

Kanazawa Medical University

## 三位一体の構築 初年次教育システムの構築

— 金沢医科大学の取り組み —

本田康二郎

菊地 建至

公地 宗弘

(一般教育機構)

大学教育学会 2019

於：玉川大学

令和元年6月1日

# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ

# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ

# 1. はじめに



# 一般教育科目の教育目標

「良き医療人に必要な自立と自律の獲得」

のため 次の事項 を身につけることを目指す

1. 豊かな人間性と多様な考え方
2. 主体性と自己管理能力
3. コミュニケーション能力
4. 論理的・科学的思考能力
5. 知的好奇心と自己開発への意欲

# 医療者に求められる コミュニケーション能力



- ① 医師-医師間 コミュニケーション能力(病院): 対話力、思考力、論証的推論力・説得力、文章力
- ② 医師-コメディカル間 コミュニケーション能力(病院): 対話力、思考力、論証的推論力・説得力、文章力
- ③ 医師-患者間 コミュニケーション能力(インフォームドコンセント): 対話力、問題発見力、論証的説得力
- ④ 医学者間 コミュニケーション能力(学会): 情報収集力、読解力、論証的推論力・説得力、プレゼンテーション能力
- ⑤ 国際的 コミュニケーション能力(病院、学会): 英会話力、英作文力、英文読解力、語彙力 (医学英語)

# 医療者に求められる コミュニケーション能力



- ① 医師-医師間 コミュニケーション能力(病院): 対話力、思考力、論証的推論力・説得力、文章力
- ② 医師-コメディカル間 コミュニケーション能力(病院): 対話力、思考力、論証的推論力・説得力、文章力
- ③ 医師-患者間 コミュニケーション能力(インフォームドコンセント): 対話力、問題発見力、論証的説得力
- ④ 医学者間 コミュニケーション能力(学会): 情報収集力、読解力、論証的推論力・説得力、プレゼンテーション能力
- ⑤ 国際的 コミュニケーション能力(病院、学会): 英会話力、英作文力、英文読解力、語彙力 (医学英語)

# 医療者に求められる コミュニケーション能力



- 1科目ですべて教えることの難しさ
  - 教員的能力
  - 時間的制約
- 複数科目でバラバラに教えることの難点
  - 基礎力が相互に関連し補い合うものであると認識できなくなってしまう。

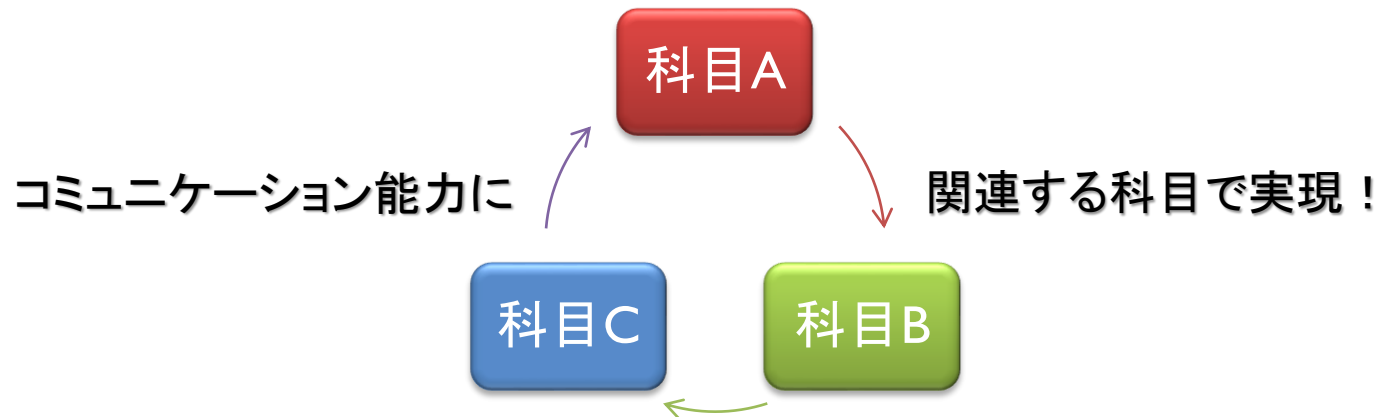


# 医学教育の国際認証



- 科目間の水平統合の勧め
- 科目間の垂直統合の勧め（別の機会に）

## 「三位一体の初年次教育システムの構築」



# 科目間「水平統合」の実践

- 大学基礎セミナー  
– University Foundation Seminar = UFS
- アカデミック・スキルズ  
– Academic Skills = AS
- クリティカル・シンキング  
– Critical Thinking = CT



三科目  
の連動

# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ

## 2. 三位一体の初年次教育システム



# 三位一体の初年次教育システム



General Education



BSS

対話力  
情報収集力  
プレゼンテーション能力



読解力  
文章力  
論証的説得力

AS

□ 専門教員 1名



能動的態度  
問題発見力  
論理的推論力

CT

□ 専門教員 1名



ソフトウェア(教材)が  
毎年更新される。

- リーダー教員 1名
- チューターは15名

# BSS コミュニケーションシート

大学基礎セミナー

グループ

## コミュニケーションシート

\_\_\_\_月\_\_\_\_日

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

担当テューター \_\_\_\_\_

指導教員 \_\_\_\_\_

これは本学第一学年における生活習慣、学習習慣に対するアンケートです。

習慣の改善などが必要な場合は、指導教員を通じて助言ならびに指導のために活用します。

その他の用途に利用されることはありません。

**先週の様子を教えてください** (5段階のものは、3を「ふつう」として教えてください。)

1. 睡眠は十分とれましたか？

5 4 3 2 1  
とれた |-----| とれなかった

2. 食欲はありましたか？

5 4 3 2 1  
あった |-----| なかった

3. 学習時間を確保できましたか？

5 4 3 2 1  
できた |-----| できなかった

また、集中して学習できましたか？

5 4 3 2 1  
できた |-----| できなかった

4. 週2日、30分以上の運動（部活を含む）をしましたか？ した ・ しなかった

5. ストレスを感じましたか？

以下の番号から選んでください。 ( ) (複数回答可)

可能なら、具体的内容を「6. 一週間の様子」の欄に記載してください。

- ① 特になし      ① 生活上の悩みから      ② 就学上の悩みから  
③ 友人・人間関係      ④ その他

6. 一週間の様子（ふり返り、または反省など）を記載してください。

## ■ 大学基礎セミナー(UFS)

- チュートリアル
- チューターは学生指導をサポート
- PBL方式
- グループ討議
- ハンドアウト作成
- プレゼンテーション



Kanazawa Medical  
University



# 三位一体の初年次教育システム

## 三科目水平統合の完成

	アカデミック・スキルズ AS	大学基礎セミナー UFS	クリティカル・シンキング CT
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読書と要約</li> <li>● <u>ハンドアウト</u>の作成</li> </ul>	<p>「CO2犯人説は正しいのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>情報収集</b></li> <li>● 信憑性の高い情報とは何か</li> <li>● 論文の要約方法</li> <li>● ディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クリティカル・シンキングの基本</li> <li>● コミュニケーションと自己コントロール1</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レポートの書き方</li> <li>● レポート作成の手順</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>アーギュメント</b>を特定する</li> <li>● 隠れた前提を明確化する</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマ発表 (UFS課題①より)</li> <li>● <u>アウトライン</u>の作成</li> <li>● アウトラインの発表</li> </ul>	<p>課題① ディスカッション、調べ学習、発表</p> <p>課題② ディスカッション、調べ学習、発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実習 - 紙上対話</li> <li>● コミュニケーションと自己コントロール2</li> </ul>
夏休み	7月	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>レポート作成</u></li> </ul> </div>	
	8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーポイントの使い方</li> <li>● メディカル・ドローイング</li> <li>● <u>レポートのリライト</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>プレゼンテーション学習</b></li> <li>発表準備、スライド作成</li> <li>中間発表</li> <li>本発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ピアで、CTを活かして互いの論述に詳しくコメントする</li> <li>● <b>ASレポートの批評</b></li> </ul>

# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ



# 3. 大学基礎セミナー (UFS)

## 1994年開講



# 「課題学習」の目標

## 1. 学びのスタイルの確立

自学自習 個々の知識のつながり

## 2. 論理的・客観的に判断できる

問題の発見・整理・解決・評価

## 3. 情報の収集・整理・共有ができる

**導入学習 (3週間)** + **口頭での伝達・討論**

## 4. グループ (7~8名) の中で行動できる

コミュニケーション 司会



# 最終成果：プレゼンテーションで評価

ASで作成したレポートを持ち寄り、プレゼン資料を作成  
【教員からの評価と教室(学生)からの評価を総合する】

学籍番号:	氏名:	グループ:			
【凡例】 5: 優秀、4: 良好、3: 標準、2: やや不良、1: 不良					
評価対象 \ 評価	効果的な「導入」ができたか	「本論」を論理的に展開できたか	適切な「結び」ができたか	意欲的に話すことができたか	計
6 グループ					
3 グループ					
18 グループ					
19 グループ					
4 グループ					
8 グループ					
2 グループ					
17 グループ					
11 グループ					
10 グループ					



# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ

# 4. アカデミック・スキルズ (AS)

## 2012年開講



# 起承転結 → 起承承結

- ~~起~~ 京の三条の糸屋の娘
- ~~承~~ 姉は十六妹十四
- ~~転~~ 諸国大名 は弓矢 で殺す
- 結: 糸屋の娘は目 で殺す...

## 論文では

- 起 問題提起・主張
- 承 主張の裏付け
- 承 主張への反論と再反論
- 結 再主張



# アカデミック・スキルズ

KMU 2019

アカデミック・スキルズ (第10回)

レポートの書き方

論証文 (Argument) の基本的アウトライン (起承承結)

学籍番号・氏名

## 1. 「序論」 INTRODUCTION (全体の10%)

役割: 読み手の関心を引きつける。書き手の意図を明らかにする。

- ▶ 状況認識 「これまで、こんなことが分かっている・・・」 etc. DATA
- ▶ 問題提起 「～について・・・と言えるのではないだろうか」 QUESTIONING  
「なぜ ～について・・・なのだろうか」 etc.
- ▶ 主題文 (問題に対する自分の立場を明らかにした文) CLAIM  
「著者は ～ について・・・のように考える」  
「～に関する著者の意見は・・・である。」 etc.  
次章以降で、この理由について順次説明を試みることにする。

起

## 2. 「本論」 BODY (全体の50~60%)

役割: 序論の主題文で述べた論点を具体的に発展させる。

- 2-1. 自分の意見をサポートする第一の理由  
理由づけ: 「その理由はまず、・・・(Prosの意見1)」 WARRANT 1  
具体例・実例1: 「たとえば、・・・」 BACKING 1  
具体例・実例2: BACKING 2
- 2-2. 自分の意見をサポートする第二の理由  
理由づけ: 「第二の理由は、・・・(Prosの意見2)」 WARRANT 2  
具体例・実例1: 「たとえば、・・・」 BACKING 3  
具体例・実例2: BACKING 4
- 2-3. 自分の意見をサポートする第三の理由  
理由づけ: 「第三の理由は、・・・(Prosの意見3)」 WARRANT 3  
具体例・実例1: 「たとえば、・・・」 BACKING 5  
具体例・実例2: BACKING 6

承

・ WARRANTが多いほど、説得力が増す。  
・ 同じく、自説を支える BACKINGが多いほど、信憑性が高まる。

## 3. 「考察」 REBUTTAL (反論) と SURREBUTTAL (再反論) (全体の20~30%)

役割: 予想される反対意見を提示 (複数でも可) し、それに対してなぜ自分は同意できないのかを述べる。自説の優位性を高める。

- ✦ 自分とは反対の意見(Consの意見) 「一方、～と考える人がいるかもしれない。」 BACKING 7
- ✦ それ(Consの意見) に対する再反論 「しかし、やはり・・・だ。なぜなら、・・・だからである。」

承

## 4. 「結論」 CONCLUSION (全体の10~20%)

役割: 序論と同様に主題文を言い換えて述べる。これまでの論証をまとめる。 CLAIM

- 「これまでの論証をまとめると、・・・」
- 「著者の意見をまとめると、・・・」 etc.

結

参考文献表

## ■ 5~6名のグループ学習

## ■ レポート課題について、6週間にわたってグループ討議と資料調査

## ■ グループで一つ、論文のアウトラインを作成

## ■ 7月~8月の「夏休み」を利用して論文作成

- ▶ 自分独自のアウトラインを作り直すのは可
- ▶ グループのアウトライン通りでも可

## ■ 論文は9月に一度だけリライト可能

Kanazawa Medical  
University



# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ



# 5. クリティカル・シンキング (CT)

## 2015年開講



# CTの目指す意識改革

- 「大学生は、質問を歓迎し合う仲間どうし」
- 「これまでの信念や常識に捕らわれず開いて（オープンに）考えたり語ったりする仲間どうし」
- 「大学生と大学教員は、知的探究のプレイヤーどうし」



# 能動的態度・問題発見・ コミュニケーション（4～5月） （計10時間）

- 「複数の視点で良く考える力」
- 「バイアスに気づく力」
- 「社会的CTの態度・スキル」

UFS と AS のグループワーク・PBLを良好に展開する態度形成に貢献する。

# Index

1. はじめに
2. 三位一体の初年次教育システム
3. 大学基礎セミナー(UFS)
4. アカデミック・スキルズ(AS)
5. クリティカル・シンキング(CT)
6. まとめ

# 6. まとめ



# 中世大学における リベラル・アーツ（西洋）

## 自由七科

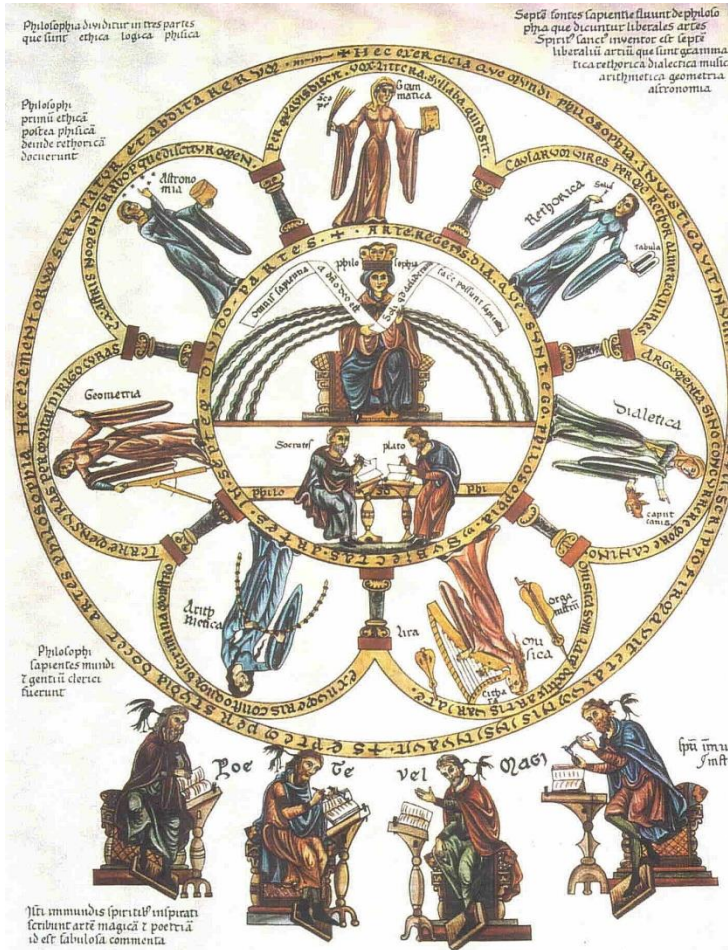
### ■「三学」(トリウィウム、Trivium)

- 文法
- 修辞
- 論理学

人文教育の再興

### ■「四科」(クワードリウィウム、Quadrivium)

- 算術
- 幾何学
- 天文学
- 音楽



# 課題共有で効果

1. 修辞 ➡ **大学基礎セミナー** でプレゼン練習
2. 文法 ➡ **アカデミック・スキルズ** で論文作成
3. 論理 ➡ **クリティカル・シンキング** で論理的推論



生命への畏敬

Kanazawa Medical  
University



# ご静聴ありがとうございました。

質問等は、下記アドレスまでご連絡ください。

本田康二郎(代表)

金沢医科大学

一般教育機構

[kh-honda@kanazawa-med.ac.jp](mailto:kh-honda@kanazawa-med.ac.jp)



Kanazawa Medical  
University

